

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院  
(旧 名古屋第二赤十字病院)で  
診療を受けられる／受けられた患者さんへ  
～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	大腸手術後の手術部位感染の検討		
研究実施期間	院長が研究実施を許可した日 ～ (西暦) 2024年12月31日		
研究実施診療科	一般消化器外科		
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2021年 8月 16日	
	院長が研究実施を許可した日	2021年 8月 17日	
対象となる方	(西暦) 2001年1月1日～(西暦) 2024年12月31日に、当院一般消化器外科において、大腸の手術を受けた方		
研究責任者	所属	一般消化器外科	氏名 坂本英至
研究の意義	大腸の手術では手術部位(皮膚の傷や腹腔内の手術操作部位など)への細菌感染の発症率が他の手術に比べて多く、術後回復の期間、入院期間、傷の治癒状況に悪影響を及ぼします。このため手術部位感染を起こしやすい因子を分析し、手術部位感染の減少につなげるにはどうしたらよいかを検討します。		
研究の目的	手術部位感染の発症率を低下するための方策を検討することです。		
研究の方法	対象となる方の臨床情報について、診療録を振り返って収集し、統計学的に検討します。		
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を、匿名化した上で使用します。(年齢、体重、性別等の基本情報、採血結果、手術前後の臨床情報、術後合併症、入院日数等)		
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。		
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・管理します。		
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。		
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相		

	反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報等は、本研究目的以外に使用しません。
問い合わせ先	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 一般消化器科 坂本 英至 電話 052-832-1121 (代表)